

令和元年度改訂

ふじさわ
宿場町の歴史残るまち 藤沢

健康づくり
ウォーキングマップ
ふじさわ



健康づくり普及推進団体 健康ふじさわ

藤沢市保健医療財団

藤沢市健康づくり課

* みんなでからだを動かそう！ *

藤沢市では、平成27年3月に元気ふじさわ健康プラン 藤沢市健康増進計画（第2次）を策定し、すべての人が生涯を通じ、いつまでも住み慣れた地域で、生き生きと暮らし続けられるよう、『健康寿命の延伸と健康格差の縮小』を目指しています。

そのためには、軽体操やウォーキングなど、日常生活の中で意識してからだを動かすことがとても大切です。

平成7年から、市と健康普及員（市民ボランティア）が健康づくりウォーキングマップを作成し、健康づくりウォーキングを普及してきましたが、このたび今までの歴史を大切に、健康づくりウォーキングをさらに広めて、市民の皆さまが安全に楽しくウォーキングに取り組めるよう内容を改訂しました。身近な場所で、藤沢の魅力を発見しながら、仲間やご家族と一緒に歩いてみませんか。

藤沢市健康づくり課
健康ふじさわ

続けて歩いて 健康づくりマップ 一覧表

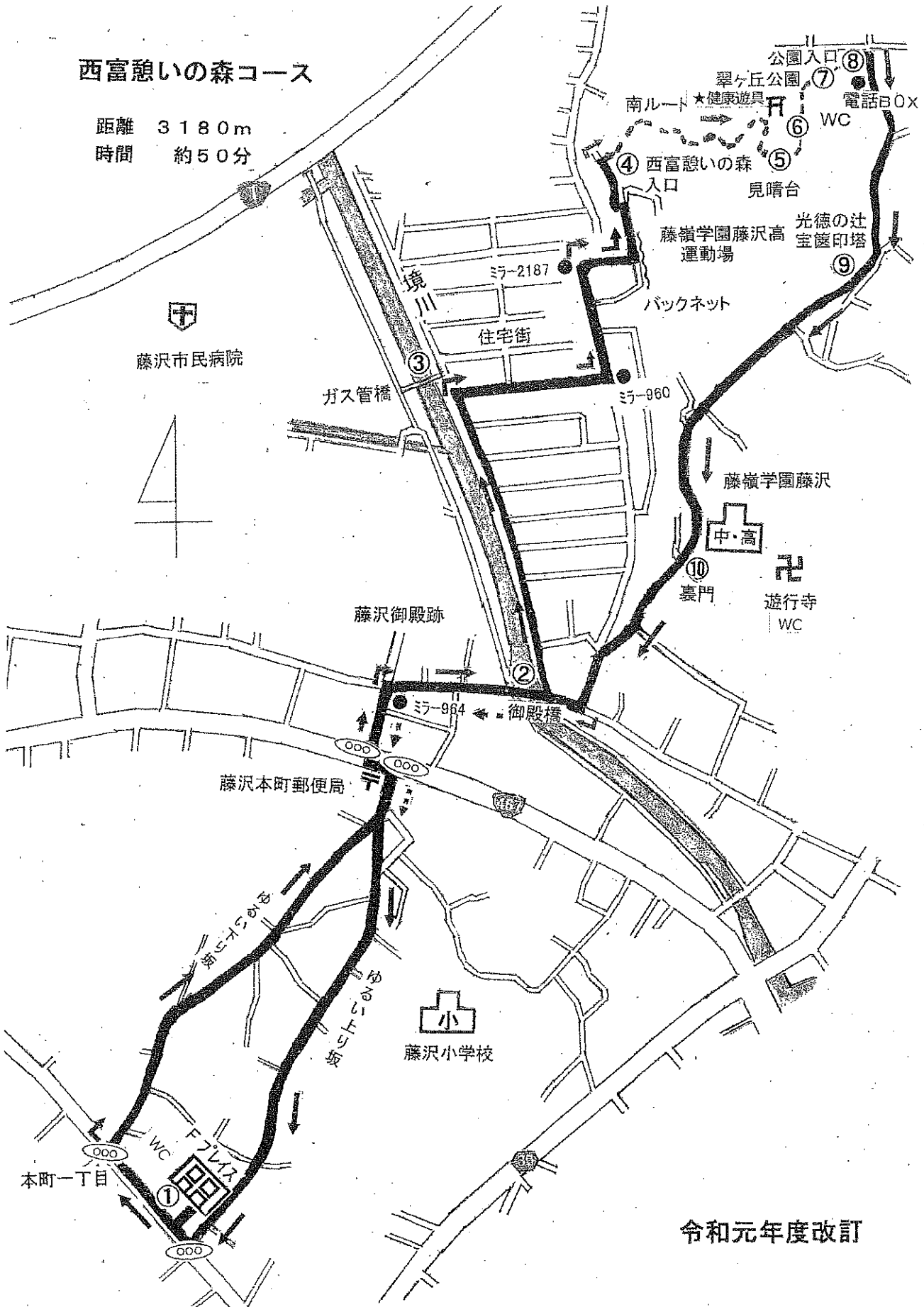
	コース名	距離	時間	コースの特徴
1	西富憩いの森コース	3 1 8 0 m	約 5 0 分	豊かな緑と素晴らしい 景観が楽しめるコース。
2	藤沢の今と昔をめぐる コース	3 4 5 0 m	約 5 0 分	藤沢宿エリアから藤沢市役所 周辺を経て、江の島道の歴史を 偲びながら散策するコース。
3	旧東海道藤沢宿 探訪コース	4 1 9 0 m	約 6 0 分	遊行寺の門前町「藤沢宿」の 歴史を偲びながら散策する コース。
4	白旗神社・境川コース	4 8 0 0 m	約 7 0 分	藤沢の地に鎮座する古社と 境川の河畔をめぐるコース。
5	伊勢山・ 烏森皇大神宮コース	4 9 0 0 m	約 7 0 分	伊勢山公園から藤沢市内の 名所・旧跡を訪ねるコース。

※所要時間は、分速70m（成人の一般的歩行速度）で歩いた場合です。

※地図・説明文内の「ミラー」とは、カーブミラー・道路反射鏡を示します。

西富憩いの森コース

距離 3180m
時間 約50分



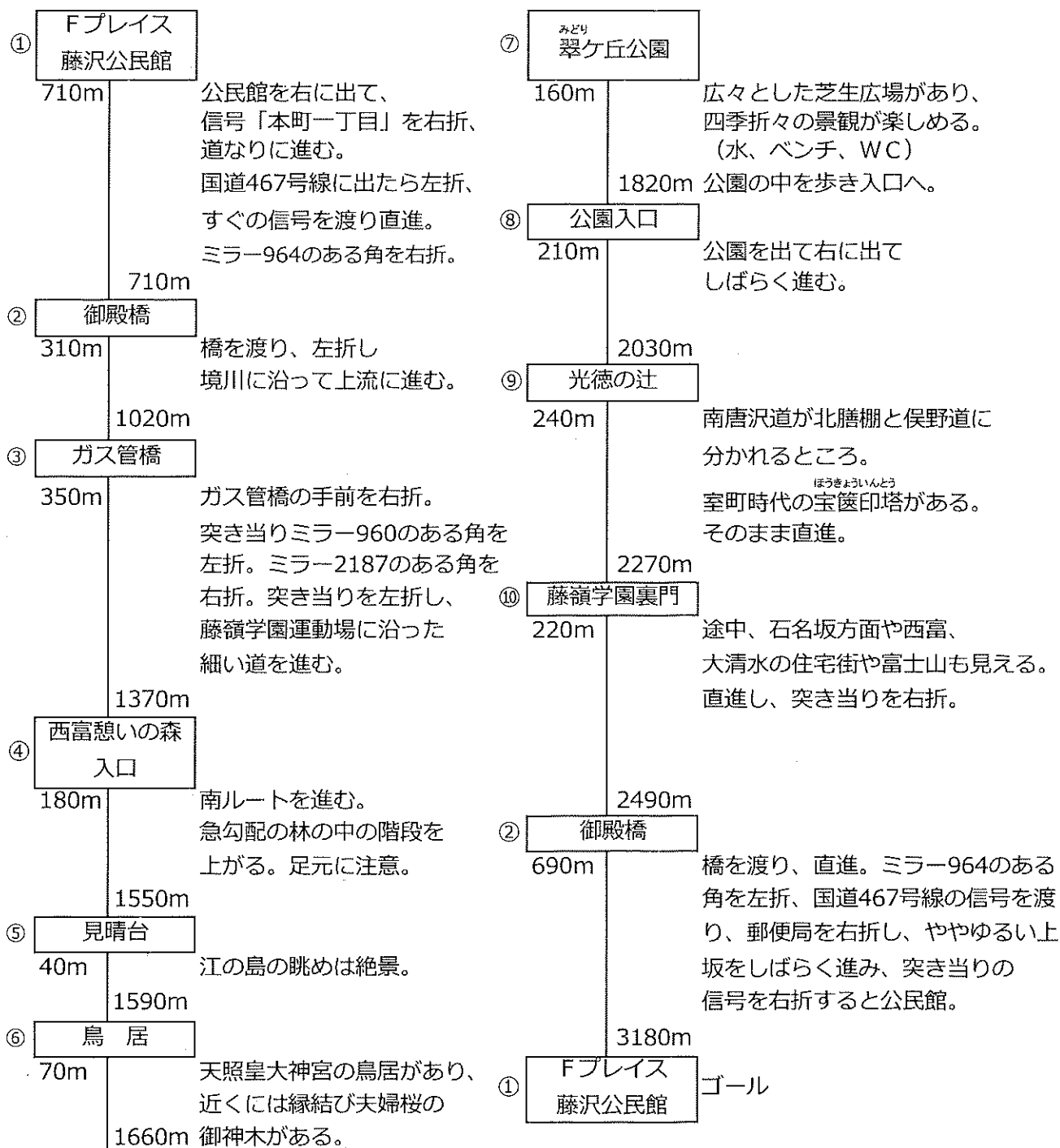
令和元年度改訂

西富憩いの森コース

豊かな緑と素晴らしい景観が楽しめるコース

距離 3180m

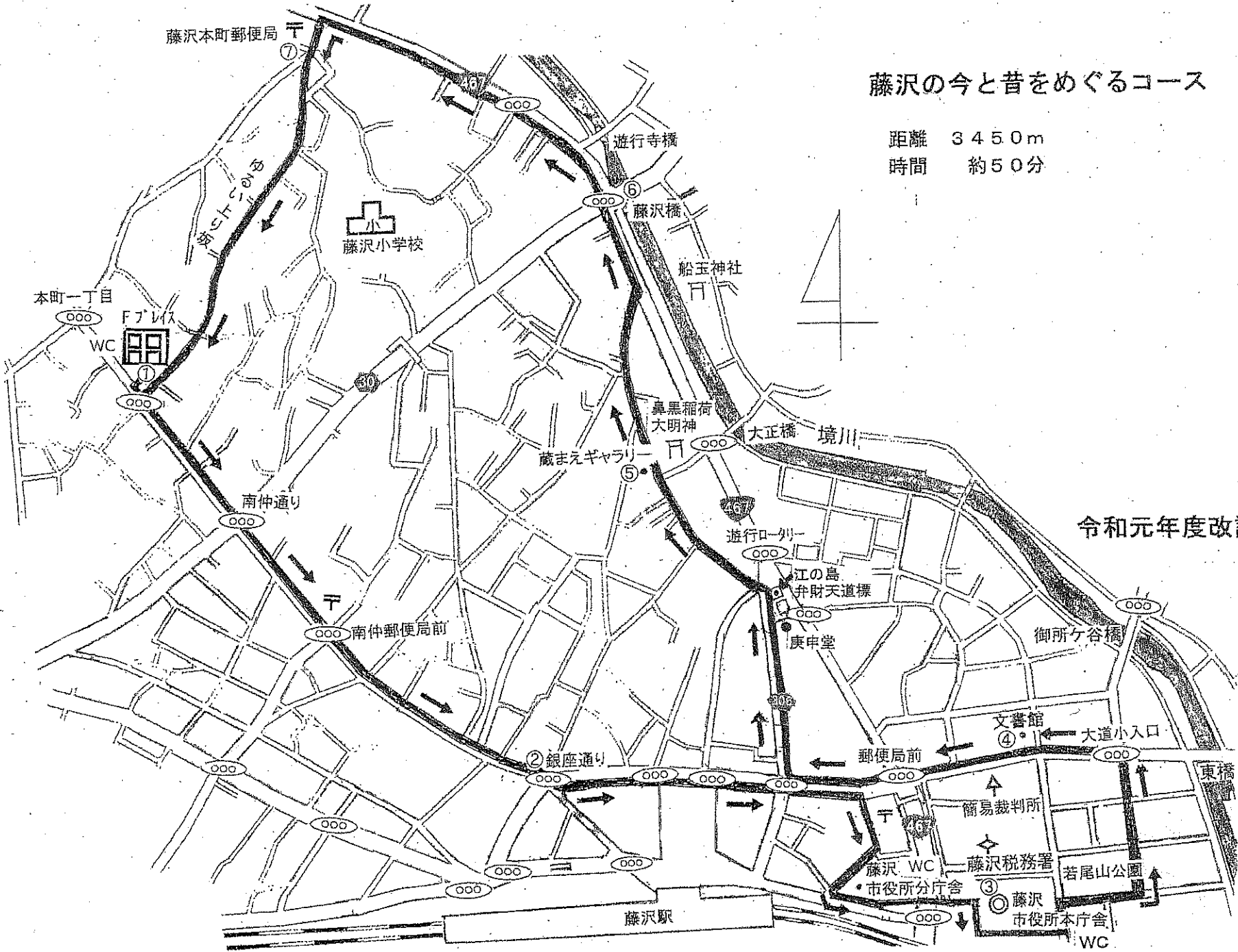
時間 約50分



藤沢の今と昔をめぐるコース

距離 3450m
時間 約50分

令和元年度改訂

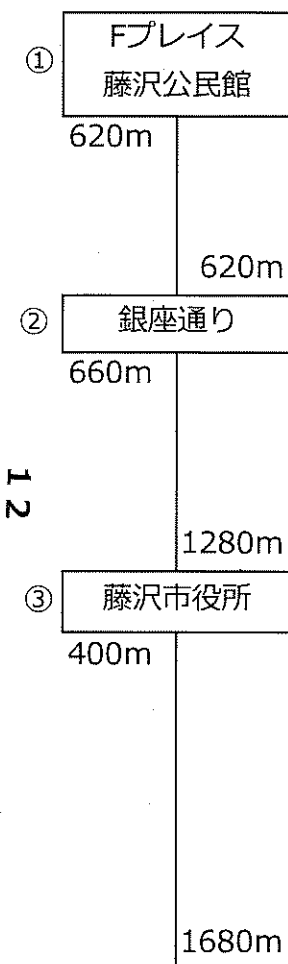


藤沢の今と昔をめぐるコース

藤沢宿エリアから藤沢市役所周辺を経て、江の島道の歴史を偲びながら散策するコース

距離 3450m

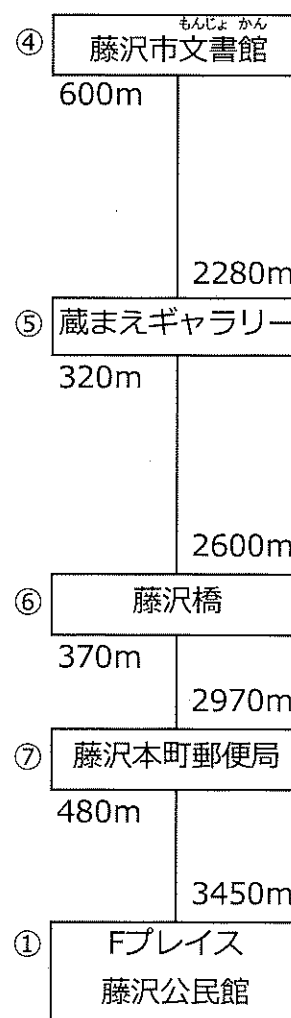
時間 約50分



① Fプレイス
藤沢公民館
620m
公民館を出て、藤沢駅北口に向かう商店街を直進。歩道に昔の絵や写真がラッピングされたトランスボックス（変圧器）がある。

② 銀座通り
660m
銀座通りの信号を渡り、駅前バスターミナル沿いの歩道を直進。郵便局の手前の道を右折し、道なりに進む。市役所分庁舎を左折し、市役所本庁舎正面（サンセット広場）に向かう道を直進。

③ 藤沢市役所
400m
市役所本庁舎の右手裏側（南側）に進むと、友好都市である中国の昆明市から寄贈された世界遺産「石林の石」などが展示されている。ベンチがあり休憩できる。本庁舎の東側（サンライズ広場）に出て、若尾山公園に沿って進み、信号「大道小入口」を渡り、左折。しばらく進むと、右手に文書館。



④ 藤沢市文書館
600m
文書館の前を直進し、信号「郵便局前」の次の信号を右折。庚申堂を過ぎ、横断歩道を渡ると、江の島弁財天道標がある。国道467号線と平行している横断歩道を渡り、左折。一つ目の通りを右折し直進。

⑤ 蔵まえギャラリー
320m
蔵まえギャラリーの前を道なりに進み、国道467号線との合流点を左折し、藤沢橋へ。時間に余裕があれば、蔵まえギャラリー手前の道を右折し、鼻黒稻荷大明神や大正橋を渡り左折し、船玉神社をめぐる、藤沢橋へ出るルートもおすすめ。

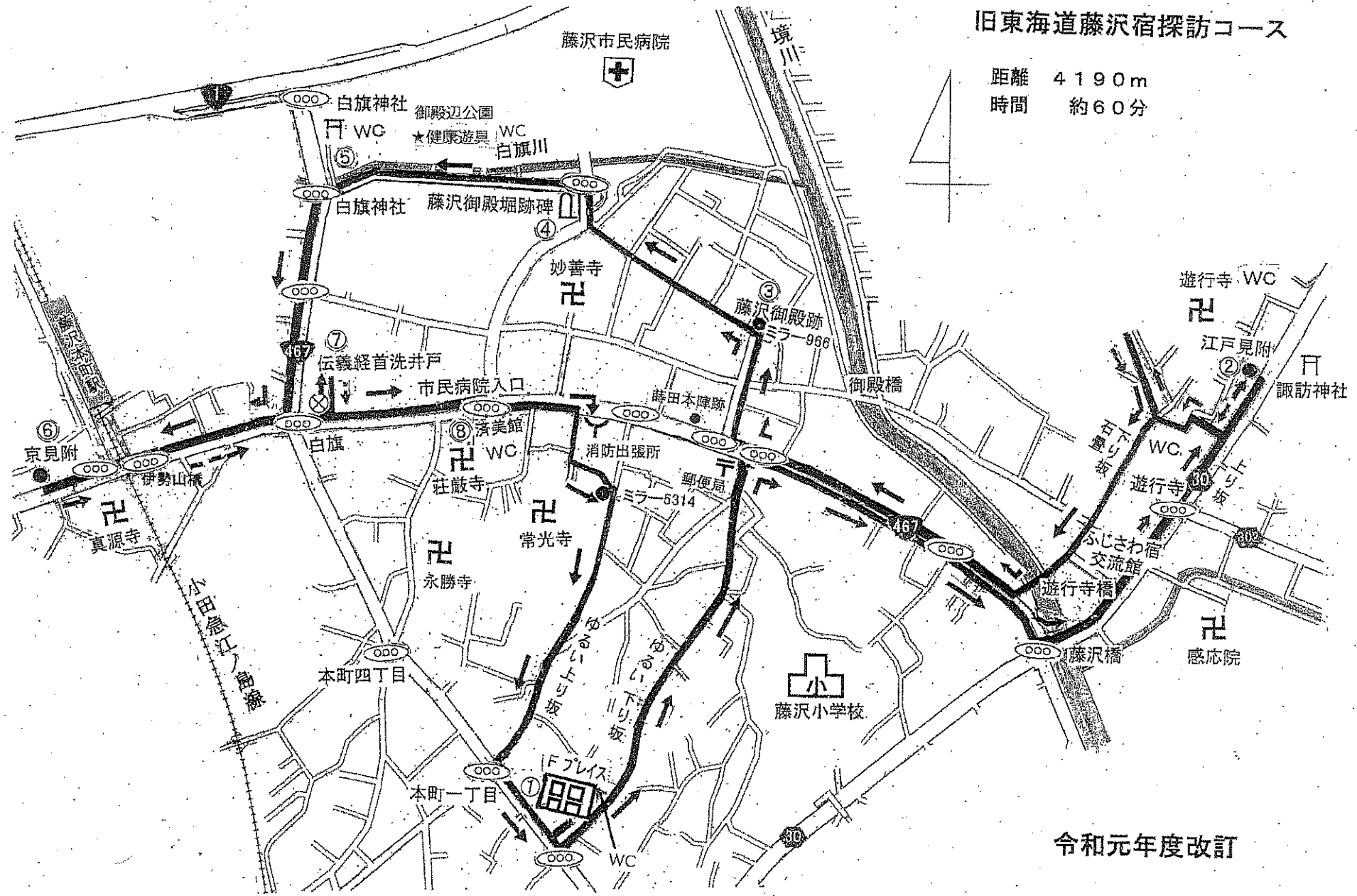
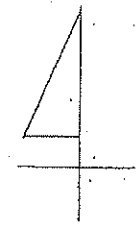
⑥ 藤沢橋
370m
国道467号線を直進。

⑦ 藤沢本町郵便局
480m
郵便局を左折し、やや緩い上り坂をしばらく進み、突き当たりの信号を右折すると公民館。

① Fプレイス
藤沢公民館
ゴール

旧東海道藤沢宿探訪コース

距離 4190m
時間 約60分



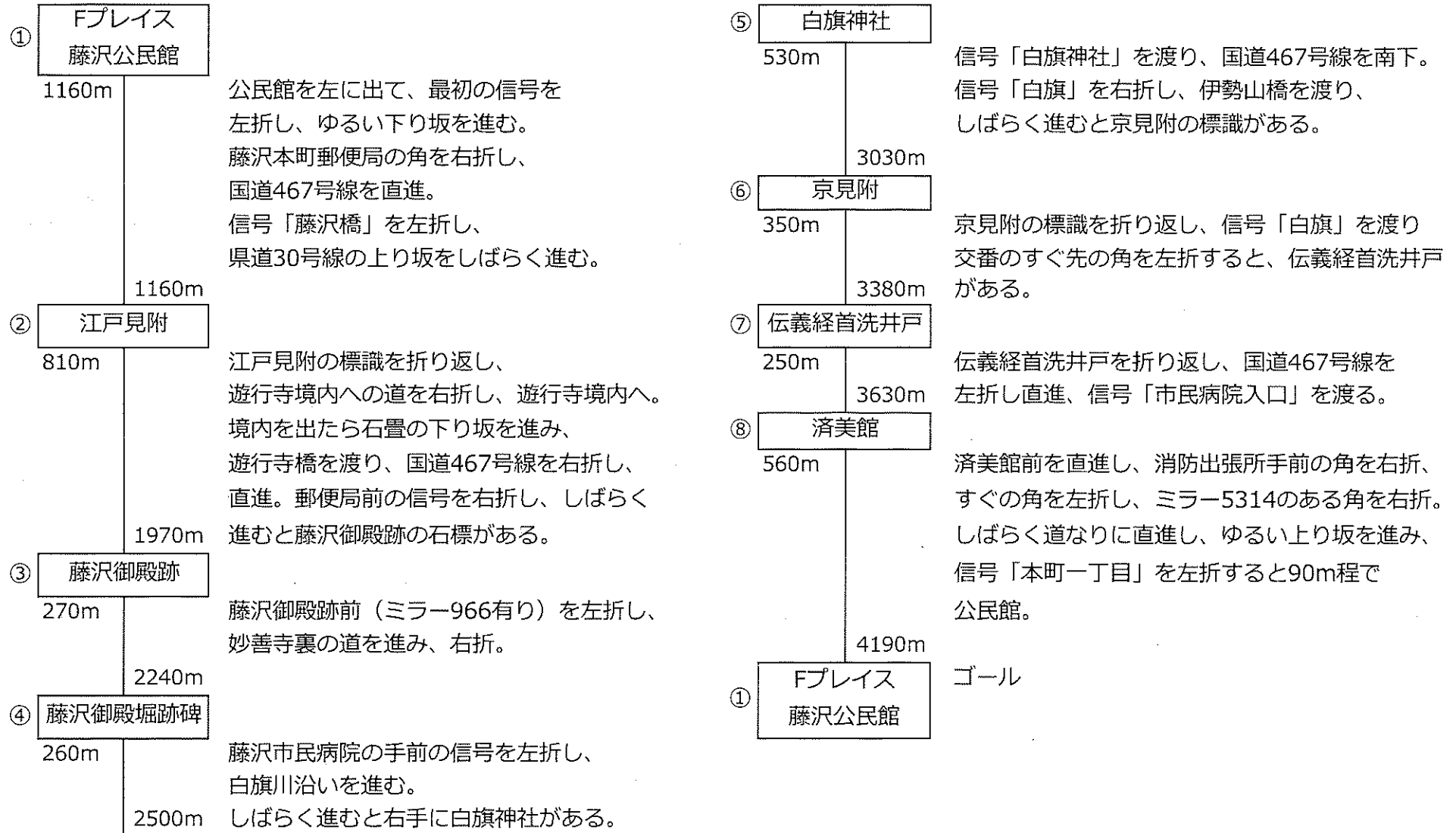
令和元年度改訂

旧東海道藤沢宿探訪コース

遊行寺の門前町「藤沢宿」の歴史を偲びながら散策するコース

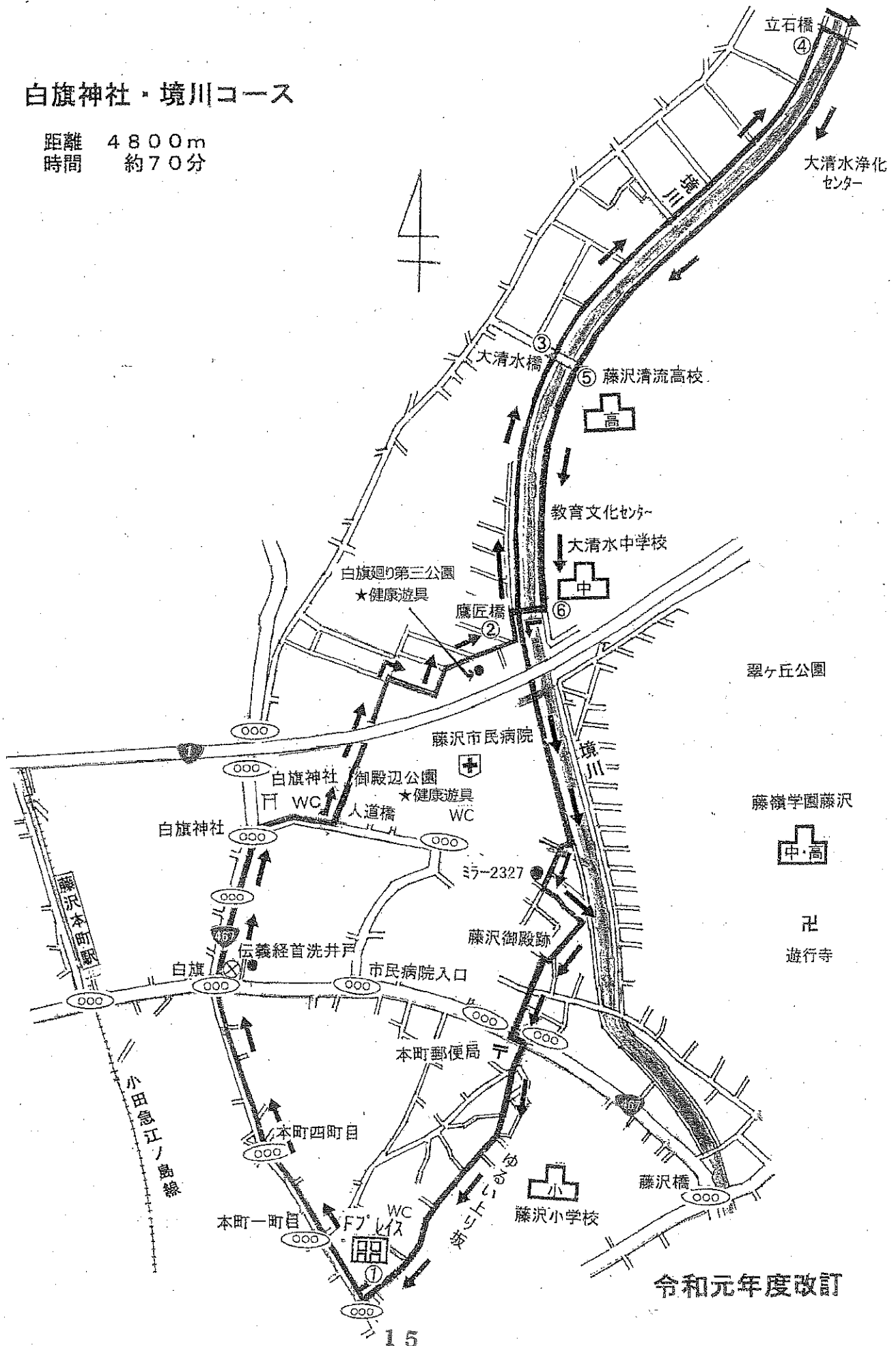
距離 4190m

時間 約60分



白旗神社・境川コース

距離 4800m
時間 約70分



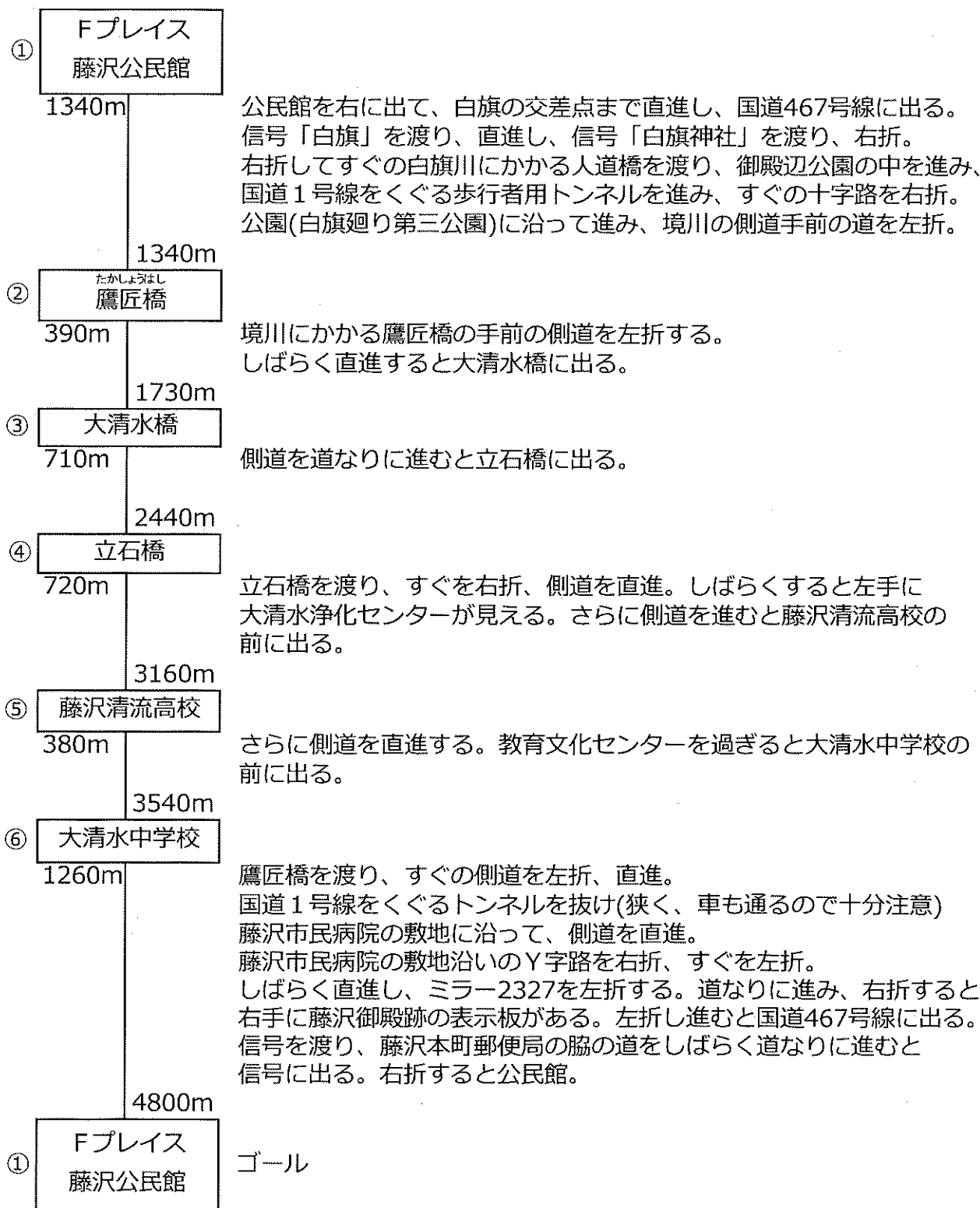
令和元年度改訂

白旗神社・境川コース

藤沢の地に鎮座する古社と境川の河畔をめぐるコース

距離 4800m

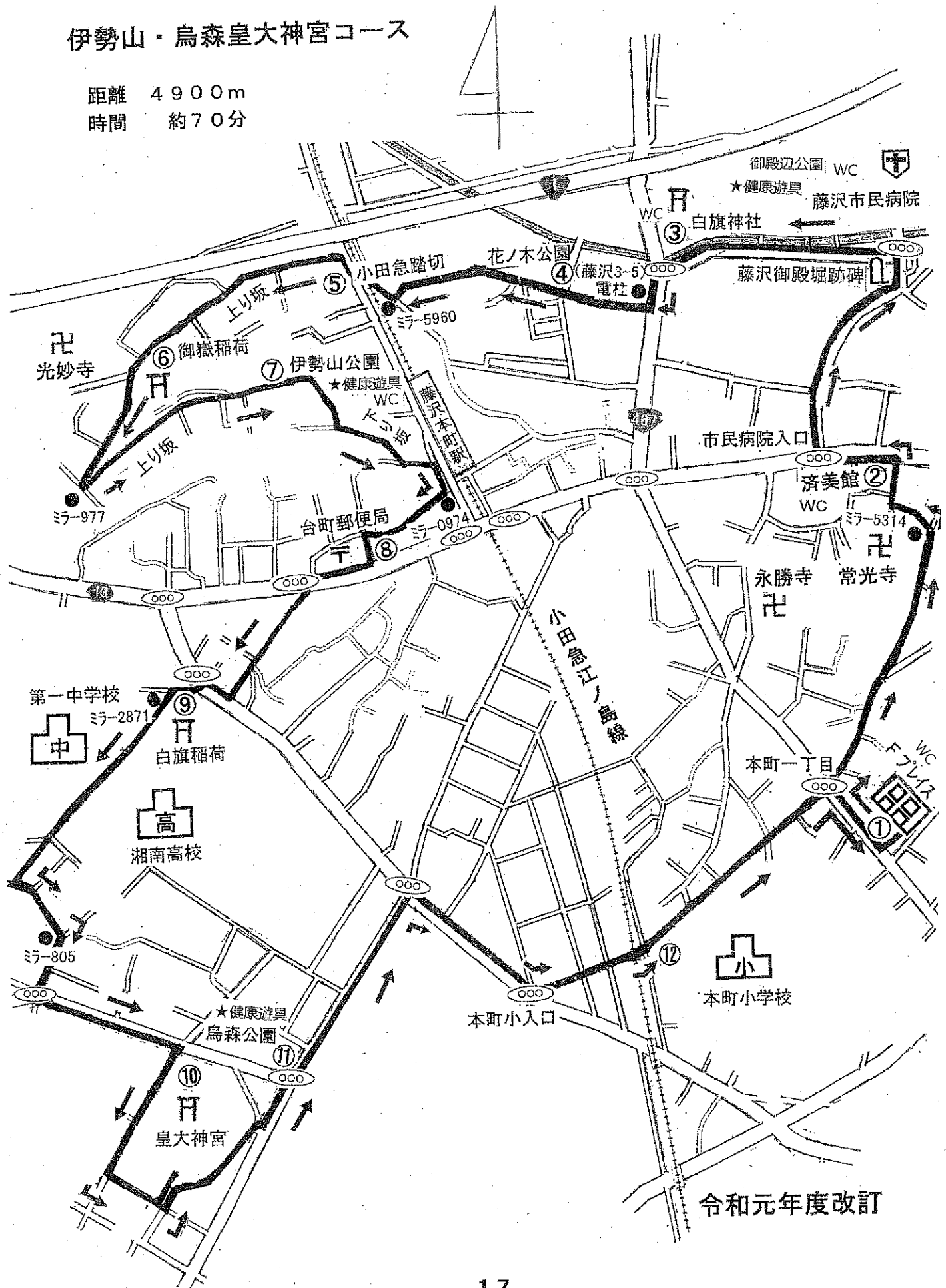
時間 約70分



伊勢山・烏森皇大神宮コース

距離 4900m

時間 約70分

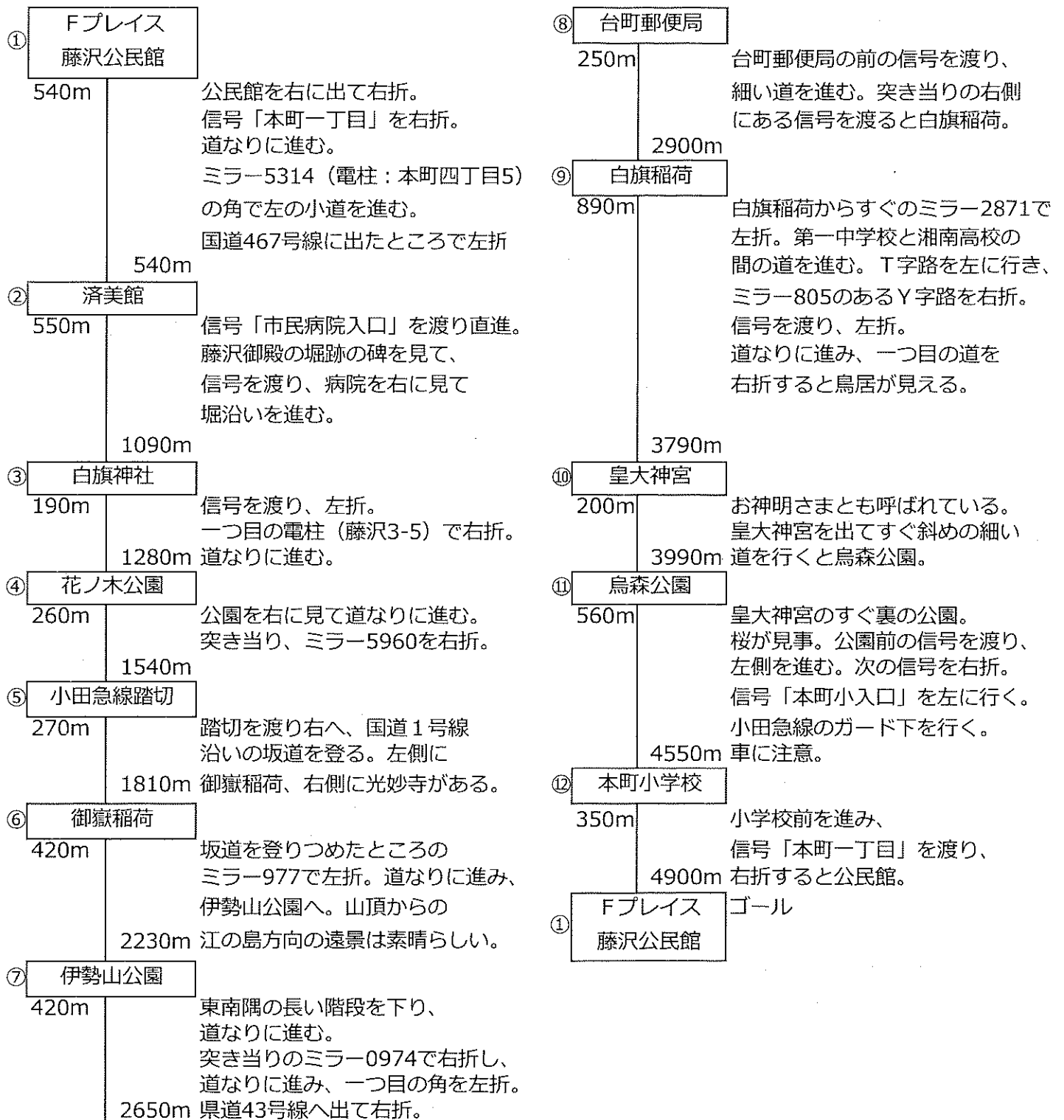


伊勢山・烏森皇大神宮コース

伊勢山公園から藤沢市内の名所・旧跡を訪ねるコース

距離 4900m

時間 約70分



藤沢地区ウォーキングのみどころ

【寺社】

遊行寺 ゆぎやうじ 正式名称は清浄光寺。創立正中2年（1325）時宗の総本山。宗祖一遍上人は念仏を進める賦算と信仰の喜びを踊りであらわす踊り念仏で、みなことごとく往生安楽の境地へいたることができると説いて諸国を遍歴した。それにならって歴代の上人も遊行を続けたので遊行上人と呼ばれ遊行寺の名で通るようになった。鐘楼の梵鐘は県指定の文化財、境内東門近くに応永23年（1416）上杉禅秀の乱の死者を供養した国指定史跡の敵御方供養塔がある。境内中央には市指定天然記念物の「大いちょう」もそびえる。

真徳寺 しんとくじ 時宗。本尊は阿弥陀三尊、元遊行寺の塔頭である真光院・栖徳院・善徳院・貞松院が大正6年合併し、昭和初年に真徳寺と交称した。俗称赤門。真徳寺の本堂天井には、画家吉川清（喜善師）作の花鳥が描かれている。

長生院 ちやうせいゐん 時宗。創立永享元年（1429）本尊阿弥陀如来。閻魔道とよばれていたが照手姫により中興され長生院と改称。江戸時代の小栗判官伝説で有名となった。遊行寺境内北東。

常光寺 じやうこうじ 浄土宗。創立元亀3年（1572）本尊阿弥陀如来。境内に続く寺林約8900平方メートルは旧宿場町のなごりを残す樹林中、市指定の天然記念物となっている。

荘厳寺 しやうげんじ 真言宗。創立元暦元年（1184）本尊不動明王。火難で白旗神社隣に移転していたが、明治8年現地に移転。

永勝寺 えいしょうじ 浄土真宗。創建元禄4年（1691）本尊は阿弥陀如来。元は親鸞聖人の東国遊行寺に北条氏が鎌倉建てた一向堂というお堂。その後、下倉田（現在の横浜市戸塚区）に移り、藤沢に移された。江戸時代、近在から旅籠に売られてきた飯盛女を手厚く葬った旅館「小松屋」の主人源蔵の墓と飯盛女の墓が有名。

妙善寺 みょうぜんじ 日蓮宗。密教から日蓮宗に改宗した。創立永正元年（1504）本尊は日蓮上人。本陣職を務めた蒔田家の墓がある。

正宗稻荷大明神 妙善寺境内、鎌倉刀工五郎入道正宗が守護神にしていたという。

船(舩)玉神社 ふねたまじんじや 祭神・弟橘姫命。三代将軍源実朝が入宋を企てた時、渡船用材を切り出したところと伝えられ、それゆえに乗船成就・海上守護の願いにより勧請されたといわれている。

白旗神社 しろはたじんじや 創立年不詳、相模の国一ノ宮寒川神社を勧請。祭神・寒川比古命、源義経公。境内には、令和元年10月に建立された義経と弁慶の銅像がある。

諏訪神社 創立建武2年（1335）祭神は建御名方富命・八坂刀売命・天照大神。遊行寺を創建した吞

海上人が諸国遊行の際に信州諏訪から勧請した鎮守の社。

鼻黒稻荷大明神 詳しい由来は不明だが、藤沢宿の旅籠の半数以上に飯盛り女がいて、彼女らは表向きは給仕だったが、裏では宿に泊まる男の相手をしていた。病が進行すると鼻が欠けたりする症状が出る梅毒持ちもいたとされ、このことが由来に関わっていると思われる。

皇大神宮（お神明様） 創立天長9年（832）、祭神・天照皇太子ほか、境内社も多数。那須与一が弓矢を奉納したとも伝えられる。例祭日には人形山車9基が出て賑わう。

【源義経と弁慶伝説】

御祭神と鎮霊碑 源義経の首は藤沢に葬られ、宝治3年（1249）から祭神として白旗神社に祀られたという。平成11年、骸と首の霊を合わせて祀る御鎮祭が行われ、白旗神社の境内にこの鎮霊碑が建立された。境内には弁慶の力石や、義経公の鎮霊碑がある。

義経公の位牌 義経公の位牌は、荘厳寺にあるという。

源義経公首塚と伝源義経首洗井戸 平泉から送られてきた義経の首は首実検の後、片瀬の浜に捨てられたが潮に乗って境川をさかのぼり白旗神社付近に漂着、村人がこの井戸で洗い清めたという。「源義経公之首塚」の碑が井戸の脇に建てられている。

弁慶首塚 武蔵坊弁慶の首塚跡と伝わる寺の裏にある塚。首塚は新編相模国風土記稿が成立した頃には廃絶しており、その頃は白旗神社の社領で、八王子権現が祀られていた。

【藤沢御殿と宿場町関係】

江の島道 藤沢宿から石上、片瀬をって江の島神社に至る江の島道と呼ばれた道筋で、江の島神社に参詣する人々が歩いた旧道。

江の島弁財天道標 管を用いて鍼をさす管鍼術の考案者で、江の島弁財天を厚く信仰していたといわれる杉山検校が、江の島に参詣する人々が道に迷うことがないようにと寄進したものと伝えられ、この他に市内にほぼ同形の道標が12基あります。

蔵まえギャラリー 江戸時代に年貢米を納入する蔵があったため、このあたりを「蔵前」という。昭和4年築の米屋の母屋とその内蔵を改造したアートギャラリー。立ち寄って観光情報等を収集することもできる。

ふじさわ宿交流館 東海道五十三次や藤沢宿に関する様々な資料が展示されている。歴史散歩やウォーキングで訪れる方などが気軽に立ち寄り休憩できる。講演やワークショップなどの催しも開催されている。

藤沢御殿跡 江戸時代の初め頃、藤沢にはまだ本陣がなかったため、将軍は自らの宿泊のために今の藤沢一丁目あたりに藤沢御殿をつくりました。絵図面によると東西約193m、南北約113mの長方形の区画で、記録によると「慶長五年（1600）に家康が宿泊して以来、寛永十一年（1634）に家光が使用したのを最後に廃止の

道をたどったといわれる。

陣屋小路 藤沢御殿の周辺には御殿を管理する代官陣家が配置され、「陣屋小路」をはじめ、「御殿辺」などの地名や「陣屋橋」「御殿橋」といった橋の名に今では往時の名残をとどめている。

時田本陣跡 まいたほんじんあと このあたり一帯が藤沢宿のあったところで、歩道には本陣跡を記す案内板がたっている。本陣とは宮家・公家・大名が宿泊する専用宿舎のことで、江戸幕府は各宿場に本陣を指定していた。藤沢宿では時田家がその要職にあった。当時は総坪数約400坪、門構えや庭園などがある立派な家であった。

見附跡 見附は宿場の入り口に設けられた見張所で、関所としても機能したという。

【公園】

伊勢山公園 小田急江ノ島線「藤沢本町駅」の直ぐ西、急な石段を登ると丘の頂上に出る。展望台からの江ノ島の眺望はすばらしい。桜の名所としても知られている。承応2年（1653）の三猿の市指定文化財庚申供養塔のほか、石造物数基が点在している。

御殿辺公園 白旗神社と藤沢市民病院の間に広がる「御殿辺公園」（通称「白旗公園」）。南側には白旗川が流れている。イチョウ並木が有名。

翠ヶ丘公園 藤沢のまちは、遊行寺の門前町として発祥した。その遊行寺の裏山一帯の一部が翠ヶ丘公園と西富憩いの森となっている。なだらかな丘陵地の自然地形をいかした芝生広場は開放感がある。

【その他】

庚申堂 江戸時代、道教の影響を受けて人間の肉体には「さんしのむし三尸蟲」というものが巣くっていて、寝ている間に天に昇り、その人の罪を天帝に密告し、それによって人の寿命が決められるとされていた。そのため、六十日に一度めぐってくる庚申の夜には、誰もが眠らず徹夜して、「さんしのむし三尸蟲」が抜け出さないように見張る庚申侍の信仰が生まれた。このお堂は、庚申侍の宿や寄り合いの場所として使われていたよう。境内には、様々な「庚申供養塔」が連なる先に、市指定文化財の「青面金剛の像」がある。堂内には、江戸時代の作とされる木造の「青面金剛像」が両脇侍をともなって祀られている。開帳は六十年に一度、庚申の年と決められており、次にその姿を拝むことができるのは2040年。なお、現在のお堂は大正時代に建て直されたもの。

光徳の辻 御殿橋を渡り、遊行寺北辺からの坂道を登りきったところで、多方面に分かれるところ。室町時代の宝篋印塔や地神塔、庚申塔などがある。

藤沢市文書館 地域の歴史文化に関する資料や展示物等が数多く収蔵されている。

参考資料：

- ・藤沢市シティプロモーション課、公益財団法人藤沢市観光協会発行「藤沢花マップ」
- ・藤沢市教育委員会発行「藤沢市文化財ハイキングコース」
- ・藤沢市ホームページ
- ・藤沢市シティプロモーション課・公益社団法人藤沢市観光協会ホームページ
「いつでもおいでよ！藤沢市・湘南江の島」
- ・藤沢市ふじさわ宿交流館ホームページ

《ウォーキングマップ設置場所》

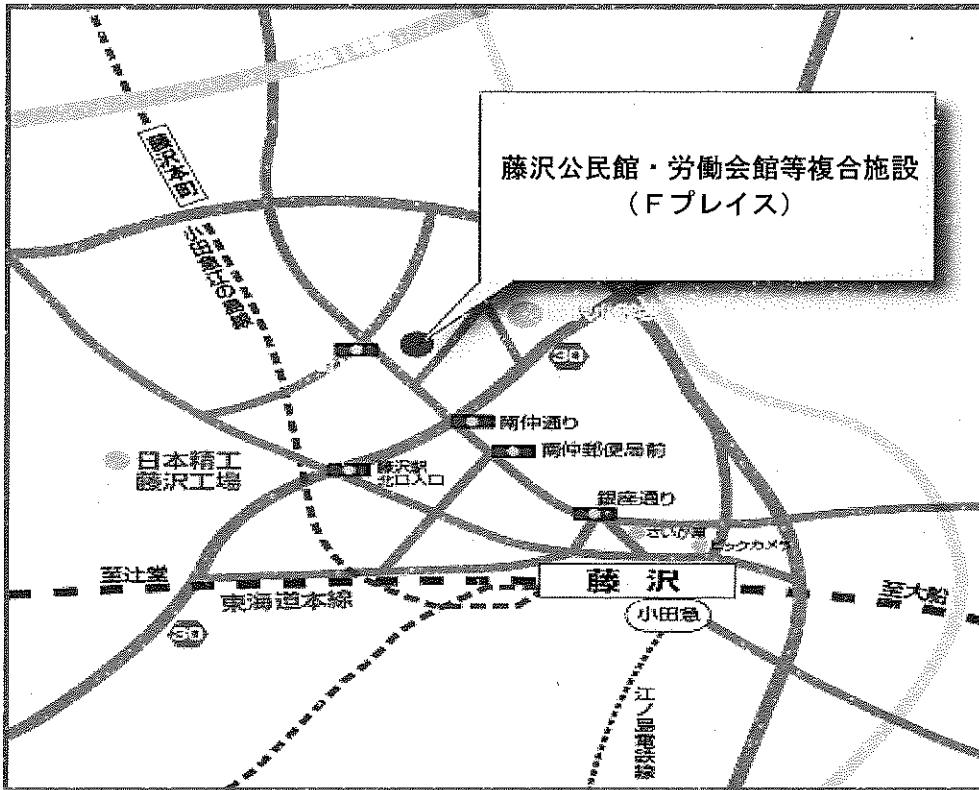
ウォーキングマップは、13地区別に作っています。
他の地区も歩いてみませんか？



在庫切れの場合、ご容赦ください。
ご不明な点は、下記にお問い合わせください。
【藤沢市 健康づくり課 電話50-8430】

(注)この情報は令和6年3月の情報です。

案内図



交通案内

○藤沢公民館

JR「藤沢駅」北口より徒歩15分

小田急線「藤沢本町駅」より徒歩10分

○済美館（藤沢公民館分館）

小田急線「藤沢本町駅」下車徒歩5分

JR「藤沢駅」北口よりバス7番・8番乗り場、本町消防出張所前バス停下車徒歩1分

健康づくりウォーキングマップ ふじさわ

藤沢編

平成8年度作成

【改訂】平成17年・24年・27年・28年度
令和元年・4年度

問い合わせ先

◇ 藤沢市健康づくり課

TEL 0466 (50) 8430 (直通)

FAX 0466 (50) 0668

☆ ウォーキングマップに記載されている情報と現状が異なる場合があります。
また事故などによる被害については責任を負えませんので、ご了承下さい。